

## 第2計;中国人は何故信仰心が少ないのか？

—文化大革命で宗教が破壊されたからです。儒教教育の復活を期待します。—

この項目は少し長くなるので章別にします。

### 第一章；現代中国には儒教寺院がない？

約 10 年前（私が中国人とかかわる以前）私は、中国は儒教の国で、漢民族は礼儀正しい人達とばかり思っていました。今でも大半の日本人はそう思っているかも知れない。中国では道教・仏教・イスラム教寺院・キリスト教会はあるが、儒教のお寺は見たことがないのであります。道家とあった事もない。つまり、合法化された宗教指導者は共産党員であり、宗教団体は共産党の文化局に所属するということが真相であるものと推察されるのであります。

北京では中国国家民族委員会から「民族文化宮」で二度招待を受けたことがあります。活仏といわれるダライラマとパンティエンラマを迎える部屋も見ました。



最近、中国の旅行客がたくさん日本に来ます。去年は約 108 万人で、一人が使用する土産物の使用代金の平均は 1 8 万円。大阪の難波・本町でもたくさんの中国人を見かけると思いますが、大半の日本人は

中国人の行動に対し違和感を覚えているのではないのでしょうか。

まず、やかましい、唾を吐く、信号無視等…。

そういう人達は、中国企業の慰安旅行で来ている人が多いと思います。大抵 5泊 6日、旅費は日本円で、一人 8万円前後で 20人から 30人単位で行動するというパターンであり、移動はすべてバスです。関空に入れば、大阪一泊その後大阪・京都・神戸観光後大阪一泊そのまま箱根迄バスで移動し箱根一泊富士山見物、東京一泊、浅草観光で更に東京一泊秋葉原で買い物の後東京で一泊、成田空港から中国へ帰ります。逆に初め成田空港に入れば関空から帰るのです。

私の観察では、日本人が中国人の行動（マナー）に違和感を覚えるのは、「現在の中国人の漢民族に信仰心が少ないからだ」と思うのです。

私は沢山の中国人の知人宅に行ったが仏壇を見たことがない。墓はあるが葬儀に僧侶がいない。また、前述のとおり余りにも日本と比べて寺院が少ないのです。

儒教は共産主義や毛沢東思想に真っ向から敵対するものとして文化大革命時に徹底弾圧され、“熊十力”などの新儒家の名士が自殺に追い込まれるなど迫害され、宗教としては事実上壊滅したのです。

**第二章；中国憲法には信仰の自由があると規定されている。しかし“？”であります。**

中国の憲法には「公民は宗教信仰の自由を持つ」と規定されていますが、未成年者への宗教教育は禁止されており、共産党の指導に従わない宗教は邪教として、当局に弾圧されるという矛盾を抱えています。

特に文化大革命の時期には宗教が徹底的に否定されたと前述しましたが、教会や寺院、宗教的な文化財が破壊されました。

チベットでは仏像が溶かされたり僧侶が投獄・殺害されたりしたといわれています。特に、チベット仏教、キリスト教の「地下教会」、「法輪功」などの弾圧事件はよく報道されていることで周知の事実であります。

### 第三章；江沢民から胡錦濤へー儒教復活の兆しー

胡錦濤は実力NO1になっても、中国共産党の老幹部が亡くなった時葬儀場で江沢民と一緒にいると、いつも「先輩お先にどうぞ」と、江沢民を立てている。私はスカパーの衛星放送でよく見ました。

\*念の為、「先輩お先にどうぞ」の教えは儒教ではなく、菜根譚“経路窄（せまき）処 留一步与人行”に由来します。（参照；中国古典一日一話 著；守屋洋 三笠書房）

従って、2003年に胡錦濤が国家主席になってから、2004年以降、毎年9月28日に孔子の生誕を祝う祝典「孔子祭」が国家行事として執り行われ、論語を積極的に学校授業に取り入れるようになるなど儒教の再評価が進んできました。1977年から27年ぶりの復活です。また、北京オリンピックの開会式では“論語”が取り上げられました。

私は、儒教は「“論語”を教科書として人間としての礼儀作法を教える“儒学”と古代統計学の確率論での神秘性のある“易経等”に分類できると思っています。礼儀作法は道徳的哲学で宗教ではないと思います。また研究者は学派と呼ぶべきだと思います。

また諸子百家（しよしひゃっか）とは、中国の紀元前500年頃「春秋戦国時代」に現れた研究者・学派の総称で、「諸子」は孔子、老子、荘子、墨子、孟子、荀子などの人物を指し、「百家」は儒家、道家、墨家、名家、法家などの学派です。

### 第四章；道教について

中国の道教は日本には“神道”と江戸時代の“大衆文化”として日本に輸入されています。

道教は漢民族の固有の宗教で、道の字の「首」は始まりを意味し、「しんにょう」は現生の人生と人生の終わりを意味します。大衆文化としての道教は“飲食・男女・旅遊”のバランスが日常生活で、修験者（しゅげんしゃ）としての道家は修行して仙人になるのが目的です。（芥川龍之介の小説「杜子春」出てくる仙人は道家です。）

太極拳も道教です。この道教も文化大革命で破壊されましたが、儒教と同様、最近復活しつつあるのです。太極拳は空の北斗七星を地上に降ろし、ゆっくりと星の飛び石を歩けば太極拳です。太極拳の発明者は、元代末期の張三豊です。武漢の近くにお寺があります。“武当派”と呼ばれます。

なお道教の女子の武道家は峨眉派と呼ばれます。四川省の峨眉山にありました。日本にも峨眉山はあります。私は、法輪功も道教と思っています。しかし江沢民時代に法輪功の信者が共産党員より数が多くなり、天安門・中南海で座り込みのデモをするので、江沢民が危険を感じて非合法化したという中国人もいますし、また怪しげな宗教と言う中国人もいます。私には真相は判らない。

道教は、日本には“春の七草”、“秋の七草”，“箸”・・・等、中国の陰暦で表示される文化が日本に“神道文化”として存在しており、中国の山東省が発祥地と言われる中国人の一般大衆の逸話を集めた“金瓶梅”のような大衆道教文化は日本では、江戸時代井原西鶴“好色一代男”等には開花しました。

一方神道文化はシャーマニズム（祈祷）に中国の道教の陰暦の習慣と食文化等が加味されたのが、日本の神道と思っています。神道にお

ける四季の行事は、下記の通りです。

四季の祭りと行事；門松（かどまつ） 鏡餅（かがみもち） 屠蘇（とそ） 左義長（さぎちょう 火祭り） 七草粥 節分 雛祭 端午節句 七夕 盂蘭盆（うらぼん） 会 重陽節句（ちょうようの節句 菊の節句） 十五夜 酉市・・・。中国道教そのものです。

皇帝（天皇）を示す三種の神器は、最初は二種の神器(剣と鏡)であったものを一つ加えたのは魏の曹操と言われています。勾玉（まがたま）です。勾玉はタクラマカン砂漠の南の和田（ホータン）で採取された“玉ぎょく”です。縁起を担（かつぐ）ぐ`吉祥品として装飾品にも使われますが、“玉印”に使われたと聞いております。

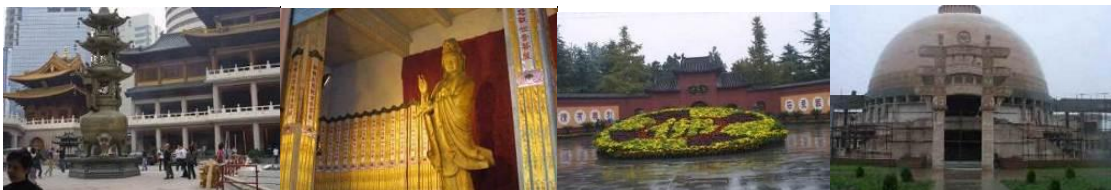
私見ですが日本ではシャーマニズム(祈祷師・巫女)で、古代日本で女王になった卑弥呼は魏の都、洛陽に使いを出し、鏡をたくさんもらいました。また“親魏倭王”の称号と印ももらっています。私は、鏡は簡単に火をおこす道具だと思っています。男性が剣で獲物を採り、女性が簡単に火を起し「ほら、子供達ご飯ができたよ」と火で獲物を焼けば食中毒にならない。との生活習慣が古代にあったと推察しております。私は、“卑弥呼”は日本に複数いたのではないかと思います。

何故なら“卑弥呼”を名前と思えば一人であるかも知れないが、“称号”と思えば各地の女王が複数いたと解釈されるからです。中国では太陽が“毛沢東”であります。日本神話では、天照大御神（あまてらすおおみのかみ）が太陽です。女性の神です。天照大御神の使用した鏡が伊勢神宮にあると言われています。

## 第五章；中国仏教の現状

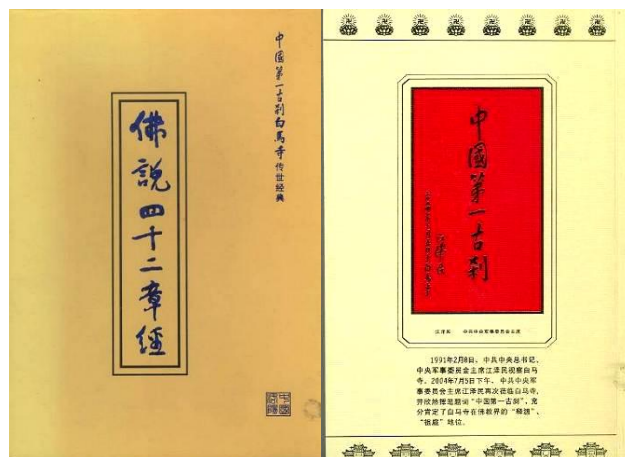
予断ですが、中国仏教の僧侶は結婚しません。ある時、私が日本にいる中国人に、若い日本の僧侶を紹介したことがあります。彼は廈門大学に留学し中国語が話せるからであり、彼の父とはかなりの親交があったからであります。彼は、中国人の若い女性は信じられないと言いました。中国人女性は僧侶と結婚する価値観がないと・・・。

ところで、上海でも仏教寺院の復興が見られます。観世音菩薩と地藏菩薩を祀（まつ）る静安寺です。また（西暦 68 年に中国に二人のインドの僧が白馬に乗せて経典をもたらした）洛陽の白馬寺は世界の仏教の博物館を目指して、（インド、タイ・ミャンマー・・・の寺院）の建設が進んでいます。側にゴルフ場のミニコース位の畑があります。畑も白馬寺の敷地です。（私は現在の白馬寺の館長とは友人です。中国語で会話します。）



私は、中国の白馬寺にも何度か行きました。館長から初めて二人のインドの僧侶が白馬に乗せて運ばれた仏典“仏説四十二章経”もいただいております。仏教の古事記と思えばよろしいです。

“仏説四十二章経”を日本の高僧に内容を聞いても誰も解からないという。中国の有名な書道家が 42 の書体別で書かれています。表紙の裏は館長直筆“得大自在”“印 楽書”、一頁は金文字で江沢民の“中国第一古刹”の書 二頁は第一章



私も本当に困りました。私が翻訳しなくてはと思うと少しくたびれます。また白馬寺に行かざるをえないかなと思っています。しかし私には強い味方が日本に一人います。独身で 30 代の後半の僧侶です。彼は若いが現在京都の天竜寺で序列第四位であります。東北大文学部（東洋文化）を卒業し、中国の厦門大学に 2 年留学しました。現在花園大学で講師もしております。私は彼の父とは 18 歳から“親交”があり、兄と思っていました。

亡くなる一年前、奥さんから“年末に主人が倒れた”の通知を受け正月に行き引退勧告をしました。その後、敷地を調べました。本人も家族が皆さん言う、登記簿謄本も敷地 300 坪と書かれていました。（「そんなアホナことがあるか、私が検見（けみ）をしたのである。」）

実際測量すると 450 坪ありました。一坪 200 万円の土地です。残余の土地は京都の有名な土産物屋さんが借りてくれ経済的安定が図れました。従って彼には既に中国の白馬寺に私は紹介してあります。従って彼に翻訳を依頼しようと思っていたところ、たまたま母と一緒に宗教法人の申告で来たので依頼したら引き受けてくれました。

現在日本の“お経”を中国語で読むと、非常に解かりやすい。中国

の小学生高学年でも理解すると思います。何故なら、中国の小学校の5年生に教室約40人の前で、私が日本のチョコレートを餌に、“般若心経”の意味を私が翻訳依頼したことがあります。一人の腕白少年が答えました。“一般的若者心之経 一般の若者の心の経 (みち)” と書いたのです。また日本にいるイスラム教徒の中国人の女性に“色即是空”を私が翻訳依頼すると“美人は頭空っぽ”でした。凄いでしょ。

## 第六章 日本の“邪馬台国論争”に一言

私には、日本古代史研究学者が卑弥呼の里は何処にあるかの“邪馬台国”論争に私の子供の頃には非常に興味を持ちましたが、私は、現在、私なりに結論をだしております。邪馬台 (やまたい) 大和 (やまと) 山直 (やまだい)・・・邪馬台を日本語の訓読みで読んだ場合“やまだい”と読むのが自然です。私は岸和田市の山直北小学校六年一組の出身です。小学校の周囲に日本の弥生時代の古墳がたくさんあります。大阪の南部泉州地区には日本の古代遺跡がたくさんあります。

他方、中国河南省の南部の信陽市の西部にある“光県”には「お坊さんと尼さん」が一緒に住んでいるお寺があります。そこに中国の天台宗の開祖の師匠がおりました。(“信陽毛尖 (しんようもうせん)”と言う中国十大銘茶の産地です。) 光県の西隣が三国時代の魏と蜀の戦争で有名



な諸葛孔明と司馬仲達（司馬懿 しばい）が戦った“五丈原”があります。

（予断ですが、伝教大師は日本のお茶玉の玉露の先祖である信陽毛尖を中国からもって帰った。弘法大師は抹茶を中国からもって帰ったと言う説があります。）

話をもとに戻します。私はシャーマニズム（自然崇拜）の祈祷師は男性で巫女は女性であると思っています。私は、卑弥呼の先祖は秦の時代に始皇帝の命で不老長寿の薬を求めて現在の山東省の威海から“徐福”が若い男女 250 人ずつ船で日本に来たと推察しています。和歌山県の熊野をはじめ数か所に“徐福神社”があります。すると、卑弥呼の先祖は長安か洛陽出身と思っています。

邪馬台国の卑弥呼の先祖は“長安”か“洛陽”か？の論争が予見されます。従いまして私は、日本の考古学者が研究する、“邪馬台国論争”は卒業しました。

前述しましたが、卑弥呼は巫女さんと思っています。しかも卑弥呼に刀禰（とね）という娘がいたとされています。巫女さんは結婚できたのです。主人が亡くなった時、巫女さんが代理祈祷師になれたと思っています。巫女さんは沢山いたのです。

中国には曹操の墓も 30 数か所あり、赤壁の戦いの場所も 3 か所あります。後漢の都も洛陽のどこにあるのか解からないのです。後漢の都と言われる平原の側に横穴式住居があります。20 万人住んでいるらしい。夏も涼しく、冬もそう寒くないとのこと。私は洛陽には 7 回探索にいったのです。



「親魏倭王」の金印とともに、「絳地の交竜錦五匹、絳地の粟十張、せん絳五十四匹、紺青五十四匹」、さらに「紺地の句文錦三匹、細班華けい五張、白絹五十四匹、金八両、五尺刀二口、銅鏡百枚、真珠、鉛丹おのおの五十斤」を卑弥呼の使者に持たせて帰らせたという説があります。

日本の考古学者・国文学者。地質学者はいよいよ、日本人が苦手な中国語を勉強せざるを得ない時がきたと思います。私から一言の助言、  
「日本の若い学者諸君！健闘を祈ります。必ず中国に行く時は海苔とポン酢を持って行って下さい。それとデジカメのほかに双眼鏡を持っていくことをお勧めします。特に内蒙古の星空とか新疆ウイグル地区のパミール高原に沈む太陽を双眼鏡でみると、「自分の人生が友人達より得をしたような気がします。」中国の田舎で英語は通用しません。

## 第七章 儒教・道教・仏教の融合

話は飛びますが、現在私が尊敬する日本人の男性は弘法大師です。洛陽の白馬寺には確かに、弘法大師は行っております。



私は、白馬寺で弘法大師の銅像を見た時、奈良時代の渡来人の行基（ぎょうぎ 668年～749年）菩薩と一瞬姿形がラップしました。

行基は渡来人で堺市の“土塔”に居を構え、聖武天皇の依頼で大仏殿建立にも関わった人です。畿内を中心に民衆、豪族層に広く仏教の教えを説き、今も畿内では尊敬されています。道場・寺を多く建て、あわせて橋、灌漑池などの社会事業に貢献しました。朝廷から一時弾圧されましたが、後に大僧正になりました。

奈良の大仏は洛陽にある龍門石窟の大仏より1m低いとされています。私は“行基”は洛陽に行ったのではないかと推察いたしております。洛陽の大仏は、武則天（ぶそくてん、623年～705年）の肖像であるとの説があります。



（私は、弘法大師も関羽のお墓をみたと思っています。関羽のお墓と弘法大師のお墓は盛り土でできており、非常によく似ており、“関林”の庭は高野山の奥ノ院によく似ております。）

関林	奥ノ院	

実は、私は和歌山に別荘があります。和歌山には三か所女人塚があります。また女人塚は高野山の高僧の愛人と言う説もあります。女人塚の周りの墓には室町時代の墓がたくさんあります。

平安時代の墓はまだ見つかりません。古くて字が見えないのです。「もしかして、弘法大師の愛人が私の土地に眠っていたのでは？」という話を家族の前ですると、私がよく中国に行くことに疑問を示す長女が「お母さん、なんでこんなお父さんと結婚したの？」と家内に聞きます。家内は「解からないと」答えます。



しかし、墓から西をみると、太陽が沈む方向は洛陽、西安の方向なのです。中国の鄭州で見た黄河に沈む太陽と、私の山から見る紀ノ川に沈む太陽は本当によく似ています。弘法大師が何故高野山に開山したかを知っている日本人は殆どないと思います。

高野山の土に“引き付け”を治療する土があったのです。それと漢方薬の草がたくさんあったのです。高野山の麓の和歌山的那賀町には世界初の麻醉薬を医聖の花岡青洲の里があります。

日本の水は中国に比べ清らかで土壌も遥かに優れている。中国富裕層向けに「漢方薬の輸出が出来るのでは？」と思う事があります。



もともと、私の尊敬する弘法大師が「中国に行って何を見、何に感動し、どうして中国語を学び、あれだけ中国の長い旅をし、キリストにも女の子がいるのに、なぜ弘法大師に子供がいないのか？」、このことが、私がたまたま 34 歳で別荘を

取得した時からの疑問でした。

土着の宗教に後から入った宗教が融合することを“習合”といいます。道教に仏教が習合した盂蘭盆（うらぼん）会などが代表例です。

## 第八章；中国の“諸葛孔明”と日本の平安時代の陰陽師（おんみょうし）“安倍晴明”の共通点を発見、

中国三国時代の諸葛孔明の兄弟はそれぞれ魏・呉・蜀の有名な軍師であります。まず、孔子の儒教を兄弟で徹底分析し、老荘思想すなわち、道家の大家である老子と荘子を合わせてこう呼ばれます。道家の中心思想としてとりわけ魏晋南北朝時代（中国史において、後漢末期の黄巾の乱から、隋が中国を統一するまで、中国に王朝が割拠していた時期（184年-589年）です。なお、長江中下流域（江南）における六朝時代六朝（りくちょう）は、中国史上で建康（建業）に都をおいた（222年 - 589年）三国時代の呉、東晋、南朝の宋・齊・梁・陳の総称。）の思想でありました。

老荘思想が最上の物とするのは「道」である。道は天と同義で使われる場合もあります。天文学から社会生活までの“道理”を出来るだけ科学的に説明しようとする思想が中国道教です。太陽暦は365日ありますが道教の陰暦の暦は360日です。古代の道家は天文学も研究しておりました。「陰陽五行学」とは、生年月日と出生時間で人を分析する学問であります。「時」は宇宙の法則、特に太陽と月と地球の関係に合わせて設定されています。当鑑定はその綿密さ、正確さ、確

実さでは他の追随を許しません、“四柱推命”です。

中国“三国(95集)”のDVDを見て、

“平安楽土、万年春”と言った陰陽師(おんみょうし)“安倍晴明”は、語り口がDVDで見た諸葛孔明とよく似ているなと思いました。

平安時代に、“安倍晴明”は最先端の学問(呪術・科学)であった「天文道」や占いなどを、体系としてまとめた思想としての陰陽道に関して、卓越した知識を持った陰陽師ともいわれ、当時の朝廷や貴族たちの信頼を受け、その事跡は神秘化されて数多くの伝説的逸話を生まれました。また、平将門の子の平将国が安倍晴明ではないかという説もある。土御門家の開祖と言う説もあります。

(余談ですが私の祖母名前は“小美知”で長女の名前は“道子”で父の名前は次男であるが“義一”といます。父方・母方は親戚です。私は血族結婚の子供です。父は“仏像をたずねて”とかの書籍を4冊出版しております。父は歌手の森繁久弥が好きで、満州に出兵した時部下に将棋の大山名人がいたとか、私は幼少の頃から将棋を強制的によくさせられた。いつも父は私に勝ちます。勝つと、機嫌よく酒を飲んでいました。酒を飲みすぎて57歳で突然亡くなりました。)

**第九章 “第29計”で後述します中国人生活の生き抜き方の知恵である**

“兵法36計”は明代に“は集大成されました。

元朝の蒙古を中国から追放した明朝の永楽帝は都を建業(現在の南京)から北京に遷都した時、作られた公園が“天壇公園”です。天壇公園

にいけますと、中国流将来予測の占い術の“四柱推命”がなんとなく解かります。



“老子・莊子・周易“は三玄と呼ばれ、これをもとにした学問は玄学と呼ばれました。玄学は魏の王弼・何晏、西晋の郭象らが創始者です。

## 第十章；世界の宗教がある国の“倫理観”と日本の“武士道精神”

中国人にとって文化大革命は歴史も人間の精神構造にも影響を与えた悲しい出来事でありました。宗教心が生まれた時から自然に身についた民主主義国家では、最低限の人間としての良心を持っています。神・仏との契約概念があるのです。

「してはいけないことに罪悪感を持っている。」ということなのです。中国の小学高学年に教える道徳教育の教科書は”公民“と呼ばれます。私は”公民“は宗教ではなく。(ここにゴミをすててはいけない、スピードをだすな・・・等)の”標語“と思っています。標語は注意の呼びかけです。

中国ではスピード違反で人を轢(ひ)き殺すと死刑になることがあ

ります。行為の結果に対する判定です。亡くなった人の人生を壊し、家族の心を苦しめたというような罪悪感がなく、行為の結果に反省がなく言い訳をするので、結果責任に潔（いさぎよ）さを説く日本人の武士道精神とは相いれないのです。

私は9月上海に行き書店で“三国（95集）”以外に“孔子”と“李鴻章”のDVDも買って既にて見ております。韓国ドラマも時々テレビで見ております。

日本の“武士道精神”はシルクロードの最終地である日本で、中国で生まれた“儒教”が朝鮮半島を経由し、孔子の理想が日本で開花したのが“武士道精神”です。

(私の過去の整理資料)

	武士道精神	儒教
仁	仁徳	當仁不讓於師
義	正義 忠義	見義不為無勇
礼(禮)	礼節	克己復礼
智	智者	智者不惑
信	信用 信義 誠実	信義即

\*韓国儒教は“孝”が主体です。親孝行です。

また日本人を数式で書けば、(a=蒙古+漢+鮮+ポリネシア)

1945年迄の日本人 (A) =  $f(x) = \frac{a}{4} \int_0^x f(x) dt$  と書ける。

日本人 (A) に本格的に西欧文化 (言論の自由、契約概念、時は金成、西洋医学・・・) が入り、英語も多少理解し、独自で切磋琢磨 (せっさたくま) して、東洋人として一番多くノーベル賞学者”を輩出しているのが現代日本人であります

## 第十一章；終章 「宗教・思想・主義と哲学」

私の個人的理解では宗教とは最低 1000 年以上の歴史的検証があり、

① 「開祖の意図の研究＝現生での人の行動の論 (さとし) の学問



② 「神秘的預言」 = 「過去の歴史的検証に基づき古代数学の確率論

で未来を予測する」という内容で構成されていると思います。

論(さとし)は具体的には、仏教では、祖母が「先祖はいつもあなたを見守っているからね。悪いことをすると・・・」、キリスト教の幼稚園では「マリアはいつもあなたを見ているからね。悪いことをすると・・・」、道教では「・・・すれば畜生道に落ちる。」等です。

私は哲学者ではないが、私なりに整理しました。(宗教にはすべて愛がある)

宗教(歴史年数)	開祖	開祖の意図の研究	神秘的預言と確率
儒教(2500年)	孔子	論語(仁愛と礼儀作法)	易(八卦)・・・
道教(2500年) 中国土着の宗教 *道教は「論(さとし)の愛	老子	老荘思想(行事)三元(三帝生誕日)堯;上元 1月15日賜福(福を与える)舜;中元 7月15日赦罪(罪を赦す)禹;下元 10月15日解厄(厄を祓う)	宇宙、太陰暦(1年を6か月・3か月・3か月でわけ、15日は満月) 「四柱推命」「気孔」「針灸」「神農(農業・漢方薬)」「地獄と鬼」
仏教(2500年)	釈迦	仏典(・・・宗派)	現生(慈悲・慈愛)→死後(成仏)
キリスト教(2000年)	キリスト	聖書(・・・教会)	現生(博愛と奉仕)→死後(神の子)

また哲学的に「形而上 形の無い物」「形而下 形のある物」の観点で整理すると

雲の上(1000年以上の歴史)	形の無い物	宗教(信仰)
雲の中(50年から200年の歴史)	形が不定	哲学、毛沢東思想(語録)
雲の下(地上・現生)	形のある物	単位(国・企業・学校・近隣・家庭・・・)

私見ですが哲学は宗教を認めた上での「個別価値理論(考えかた)」で主義は各個人の行動の「流儀 やり方」と認識しています。

また毛沢東思想は過去の宗教否定の上で「自己への忠誠と単位別(企業・学校・・・)に相互扶助と平等主義の啓蒙」と理解しています。

毛沢東は1949年中華人民共和国建国以後、毛沢東思想は「資本主義・ブルジョワ否定」の完全平等な社会主義であるべきと主張し、1952年に「矛盾論」を発表してソ連の政治体制への批判をしました。スターリンなどの路線は、マルクス主義の単純輸入で「宗教は形而上学、教条主義」だと強く批判しました。特に文化大革命時、毛沢東語録の一部として「形而上学」という言葉がマルクスの「唯物論的歴史観＝国の基礎は経済」に敵対する宗教は「唯心論＝架空・まやかし」という意味合いで新聞などで多用されました。

しかし、経済学者のマルクスは宗教を否定せず、むしろ敬虔(けいけん)なキリスト教の信者であるという説もあります。資本主義世界での「資本家と労働者の格差」、同じ人

間として資本家と労働者の成果である所得分配率の不平等性を指摘しただけで、革命家のレーニンがマルクス理論を利用したと言われている。

「形而上学」の言葉は今でも中国では一般的には中国社会主義の教祖毛沢東を貶（けが）す言葉として使用されています。

また、中国政府が一番危険を感じる反乱・暴動は、確かに中国の歴史には体制崩壊に農民の反乱と宗教は結びついています。また学生デモも自国の体制不満で暴徒化して体制危機が生じるのは困ると思います。

(参考；中国の反乱の歴史)

秦を滅ぼした陳勝・呉広(農民)の乱 (前 209~208)、 新を滅ぼした赤眉の乱 (18~27)、道教 後漢を滅ぼした黄巾の乱 (184)、道教 唐を滅ぼした黄巢の乱 (875~884)、道教 元を滅ぼした紅巾の乱 (1351~66)、仏教	明を滅ぼした李自成の乱 (1631)、 清時代の白蓮教徒の乱 (1796~1805)、仏教 清時代の太平天国の乱 (1851~64)、キリスト教 文化大革命 (1967-1977) 学生・紅衛兵による政治家・資本家・宗教家・学者等を弾圧
---	---

私は、毛沢東は農民一揆で蒋介石を台湾に追放しと思っています。台湾には宗教があります。

思想とは無関係に、穏やかに日中国友好を願う日本人・中国人にとっては、宗教とは関係のない「反日教育」は非常に迷惑な話です。中国政府は“反日教育”をやめて“儒教教育”の復活を望みます。儒教は歴史的に内乱に関与せず「道德教育」の学問です。

少なくとも日本人は、中国人が「盗（と）った物を返したら泥棒ではない。」「頭をさげたから謝ったでしょう。」「バレなかったら知らぬ顔」のような「罪の意識・良心の呵責（かしゃく）のない」等の言い

方、態度を改めて欲しいと思っている人が大半であると思います。

私がいくら親中派でも、自己の非に言い訳の手紙をもらったことがあります。私の親しかった中国人がある私の親しかった中国人に言った「殺人灭口 シャーレンミエコウ 都合が悪ければ人を殺し、口をふさぐ」という脅しに対しては、私の心の中の武士道精神が許さない。「滾 出去 グン チュチィ 出ていけ」と言ったことがあります。

「ごめんなさい。もう二度としません。」という反省の言葉と態度  
に期待している日本人は多いと思います。

2010/10/15 2010/11/13